

# 「第12次 ATL 全国実態調査」について

東京大学医科学研究所附属病院・血液腫瘍内科

東條有伸

川俣豊隆

2017年8月17日

成人 T 細胞白血病・リンパ腫(以下、ATL)の治療成績は、これまで行なわれてきたいくつかの臨床試験により少しずつ改善してきましたが、最新の治療法が全国の医療施設にどの程度普及しているか、その実態は明らかにされておらず、病型別の標準的治療方法は確立されていません。さらに近年、ATL に対する新しい診断・治療方法が開発され、従来の診断基準である下山分類では対応できない治療開始基準設定の問題や診断・治療の施設間格差の問題、新たな病型分類の提唱など、解決すべき新しい問題が生じてきています。

本研究は、ATL 診療の実態を全国的に調査する多施設共同研究で、東京大学医科学研究所附属病院もこの調査に協力しています。

## 1. 研究の対象となる方

本研究は、下記の方を対象としております。

- ・東京大学医科学研究所附属病院・血液腫瘍内科にて 2012 年 1 月 1 日から 2013 年 12 月 31 日までの 2 年間に新たに ATL と診断された方\*

\*ATL の診断基準はこれまでの基準に従い、抗 HTLV-1 抗体が陽性で T 細胞の表面抗原を有するリンパ系腫瘍とする。病型診断基準は原則として下山分類に従うが、ATL の診断基準を満たしていれば下山分類の病型分類に適合しない症例も対象とする。

## 2. 研究に用いる情報の種類

- ・基本情報：イニシャル、性別、生年月日、診断年月、診断時年齢、1986年以前の輸血歴、同定できるための番号または記号、現住所(都道府県名)、出生地(都道府県名)、既往歴、HTLV-1関連疾患の家族歴
- ・初診時(診断時)臨床情報：初診時下山病型分類、診断根拠部位、病理組織診断の有無、PS(ECOG)、抗 HTLV-1 抗体、病期(Ann Arbor)、B 症状、HTLV-1 provirus のモノクローナリティの検索(Southern Blot)、病変の広がり、ATL 診断時の合併症、末梢血像、ATL 細胞の表面マーカー検査、生化学検査

## 3. 外部への情報の提供

上記の情報は、本研究の代表機関である埼玉医科大学国際医療センターが業務委託を行う業者を通じて、埼玉医科大学国際医療センター、岩手医科大学、長崎大学へ提供されます。

#### 4. 研究期間

2017年6月19日（所長許可日）～ 2020年3月31日まで

#### 5. 研究組織

研究者氏名	所属機関名	職名
研究代表者：塚崎邦弘	埼玉医科大学国際医療センター造血器腫瘍科	准教授
研究事務局：伊藤薫樹	岩手医科大学医学部臨床腫瘍学講座	教授
岩永正子	長崎大学医歯薬学総合研究科フロンティア生命科学分野	教授
当院研究責任者：東條有伸	東京大学医科学研究所 血液腫瘍内科	教授
当院研究分担者：今井陽一	東京大学医科学研究所 血液腫瘍内科	准教授
横山和明	東京大学医科学研究所 血液腫瘍内科	助教
川俣豊隆	東京大学医科学研究所 血液腫瘍内科	助教
牧山純也	東京大学医科学研究所 血液腫瘍内科	助教

#### 6. 研究参加の辞退について

情報が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

#### 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

##### <お問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

担当者：(氏名) 川俣豊隆 (所属) 血液腫瘍内科

電話番号：03-3443-8111 (内線 75082)

住所：東京都港区白金台 4-6-1